



SSH指定Ⅱ期目始まる！

鹿児島中央高校は、平成30年度に文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定され、探究的な活動を中心とした取組を行っています。Ⅱ期では『協働的な活動の中で主体的な役割を担い、科学的な思考により様々な課題を解決できる術を身につけること』を目標に活動していきましょう。

昨年度は、1年生（現2年生）が探究活動の基礎を学び、2年生（現3年生）は本格的な課題研究を実施しました。文系・理系の枠を越えた様々なテーマの研究・調査が行われ、大学が主催するコンテストや「STEAM JAPAN AWARD2024」など多くの発表会に参加しました。その中で生徒達は数多くの経験をし、アイデア賞など様々な賞を得ることができました。他にも様々な場面で参加・発表した生徒の栄誉を称え、4月に行われたSSH講演会時に全校生徒に紹介しました。



▲ 令和5年度に外部で発表等を行った生徒の紹介

特に現在1・2年生は、先輩方に続いて積極的に外部で発表することにチャレンジしてください。どの時期にどのような発表があるか知りたい人は是非SSH推進室へ！

今年度の主な予定

- 7月 SSH課題研究最終報告会（全学年）
- 9月 学問探究学年発表会（1年生）
- 10月 SSH課題研究中間報告会（全学年）
- 11月 SSH交流フェスタ（2年生）
- 2月 SSH科学講演会（1・2学年）

充実したSSH講演会

県立博物館から若松齊昭学芸主事と片野田裕亮学芸主事を招聘し、本校での探究活動の目的や取組に関する専門的知識を学び、生徒自らが研究・発表内容の現状分析と更なる深化を図るために必要な事柄を考えるきっかけ作りを目的とした講演会が4月26日に行われました。



▲ 若松齊昭学芸主事によるSSH講演会の様子

若松先生からは

- ・テーマは身近なところにある
 - ・誰が何に困っているかのアンテナを張る
 - ・研究は発表してこそ価値がある
- との言葉をいただきました。



▲ 片野田裕亮学芸主事による県立博物館の紹介

片野田先生からは主に博物館の有効な活用方法を教えていただきました。是非今年度は博物館にも足を運び、展示を見ながら両先生に研究関係で質問してみましょう。

発行：SSH推進部広報係
2024年5月発行